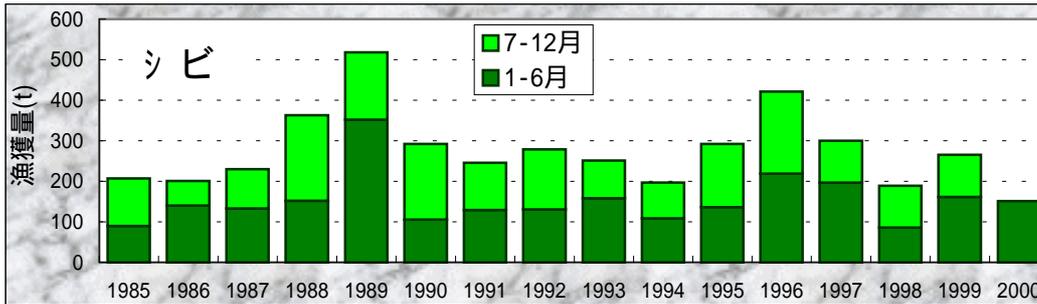
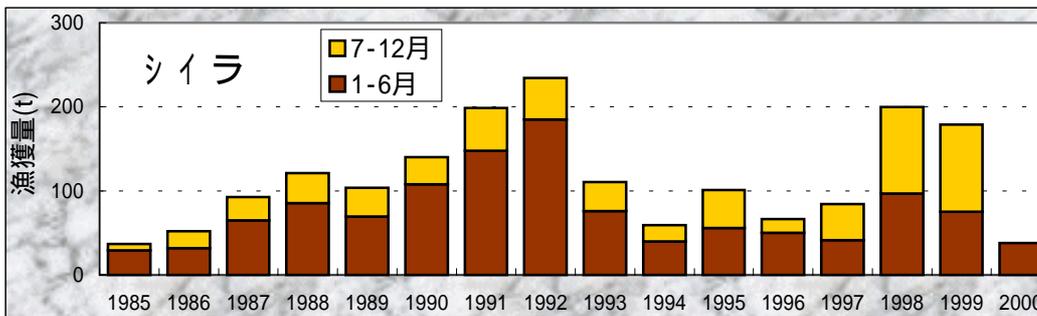


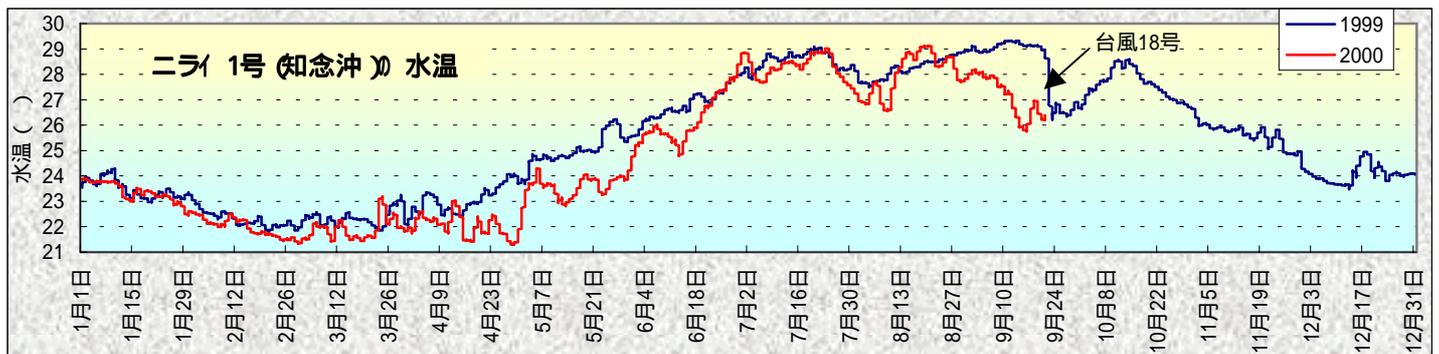
左の図は、沖縄本島南部、糸満、港川、知念、沖縄市漁協のパヤオからのキハダ(10kg以上)漁獲量です。1月～6月と7月～12月を分けています。1995年以降、比較的好漁が続いていましたが、今年は1月～6月の漁獲はあまりよくありませんでした。



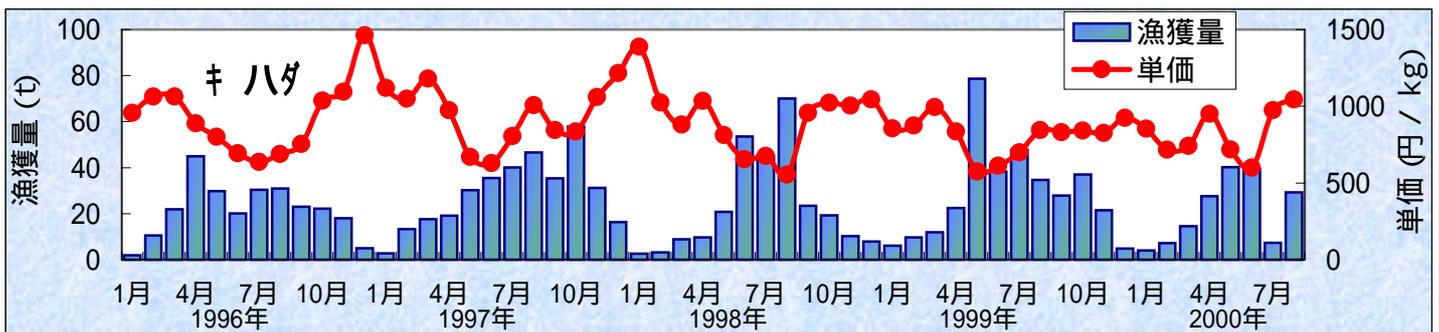
左の図は、同じく沖縄島南部のシビ(10kg以下のキハダ)漁獲量です。今年の1月～6月の漁獲量は平年並みでした。



左の図は、シイラ(マンビカー)の漁獲量です。1998年、1999年と好漁でしたが、今年の1月～6月はあまりよくありませんでした。



上の図は、知念沖ニライ1号の1999年と2000年の水温(水深4m)です。1999年9月に台風18号が接近したため、水温が急激に下がりました。今年は、4月下旬から5月にかけて水温が低く推移しました。キハダの漁獲量が少なかったことと何か関係があるかもしれません。



上の図は、沖縄島南部のキハダの漁獲量と単価の推移です。キハダは漁獲量が少ないと単価が上がる傾向がありますが、最近では少し複雑になっています。